

RADspeed Pro SR5 カメラ機能を活用した一般撮影運用の工夫



今村 光宏 先生

関西電力株式会社 関西電力病院 放射線部
今村 光宏

要旨

当院では2025年3月に一般撮影装置RADspeed Pro SR5を導入し、特長であるコリメータ内蔵カメラを活用した撮影フローを構築した。本機能によりAECセンサー位置・照射野・FPDサイズ・体位のズレをX線照射前に客観的に確認でき、再撮影の減少やX線露出の安定化に寄与した。さらに撮影構図を共有できるため教育面でも有用であった。カメラ機能は一般撮影の安全性向上、標準化、技術習得を支援する有効な機能と考えられた。

1. はじめに

関西電力病院は大阪市福島区に位置し、病床数400床、30診療科を有する関西電力株式会社の企業立病院である (Fig.1)。

当院では2025年3月、一般撮影装置の更新に伴い、島津製作所社製RADspeed Pro SR5を一般撮影室4室中2室に導入した。本稿では、本装置の特長であるカメラ機能を中心に、導入後の運用方法と臨床での実際について、約半年間の使用経験に基づいて報告する。



Fig.1 当院概観

2. 装置概要とカメラ機能の特長

RADspeed Pro SR5は、一般撮影業務における操作性と効率性を追求した装置である。オートポジショニング機能、ワイヤレスタイプのリモコンおよびハンドスイッチ (Fig.2, Fig.3)、管球の操作性を高める管球下部のハンドグリップ (Fig.4) やオートアシスト機能などを備え、スムーズな位置決めと直感的な操作を実現している。



Fig.2 ワイヤレスハンドスイッチ



Fig.3 ワイヤレスリモコン
当院では頻度の高いポジションをプリセット登録している



続きはこちら

医療従事者向け会員制サイト
「SHIMADZU MEMBERS CLUB」(無料)になります。
ご登録後にWEBで全文をお読みいただけます。